



readme.pdf

## テンプレートマニュアル

<http://www.secondpress.us/>

### はじめに

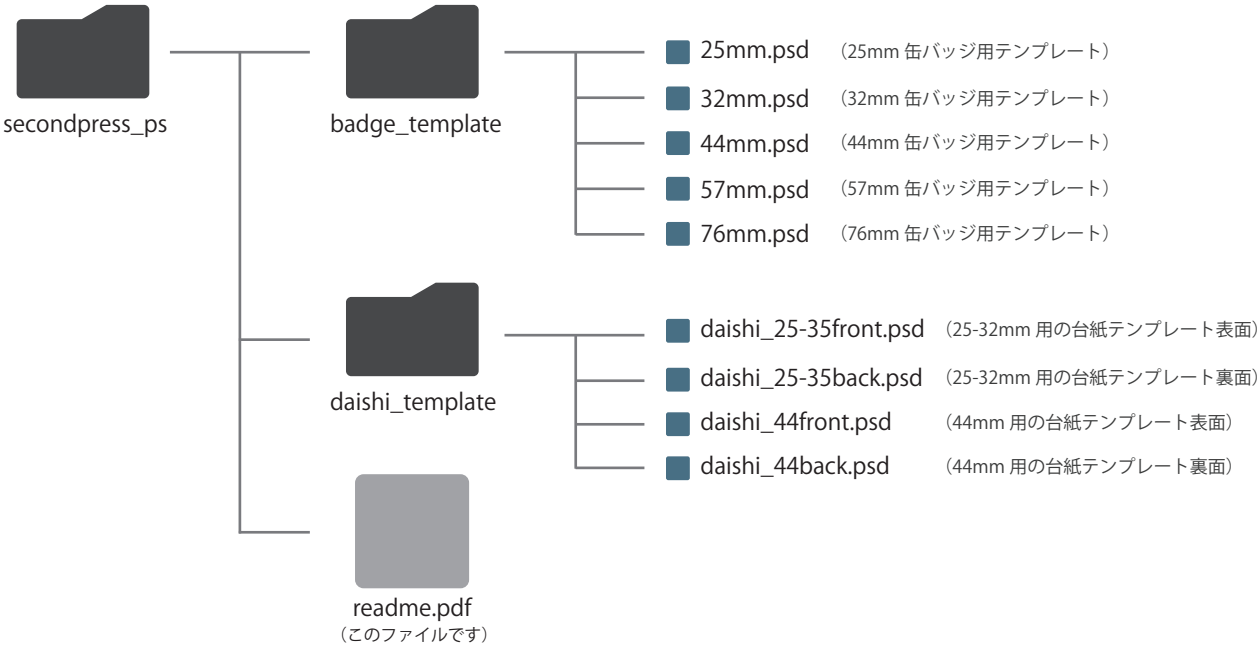
この度は secondpress.us のテンプレートパックをダウンロード頂き有難うございます。  
高品質の缶バッジを低価格でスピーディにご提供致します。

このマニュアルはお客様がスムーズにご入稿できるように製作致しましたが  
御不明な点があれば、御気軽にお問い合わせください。  
価格・品質・サービス 全てにおいてお客様にご満足頂ける様努めてまいります。

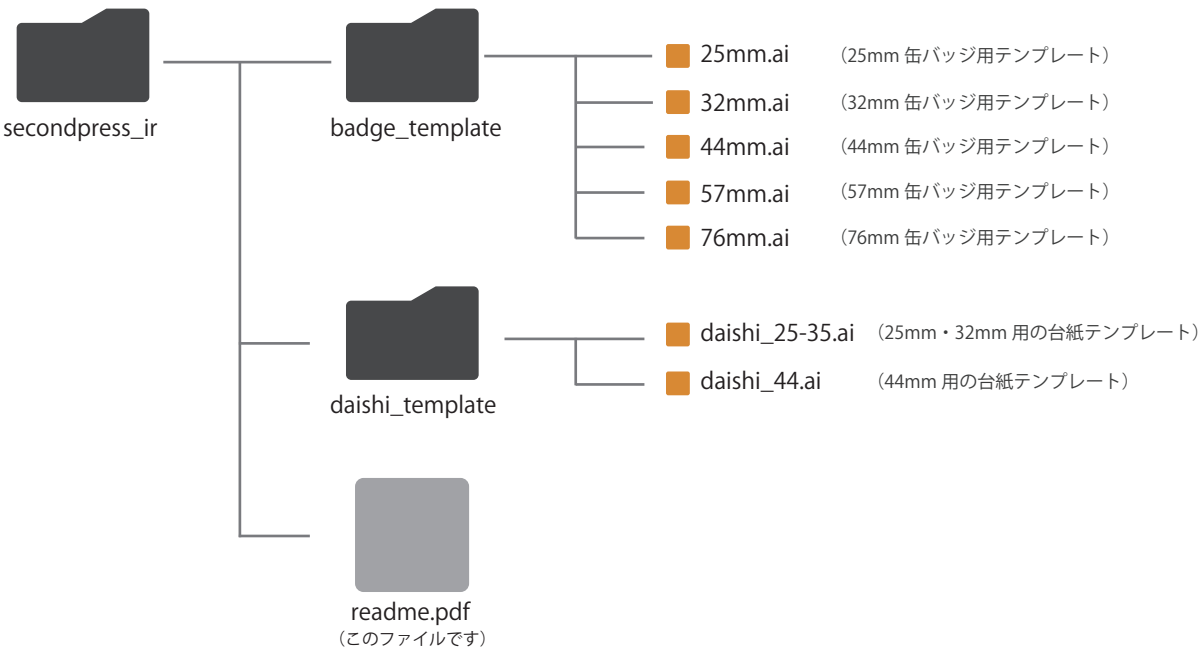
### 目次

- 01. フォルダ構造
- 02. Illustrator 用テンプレートのご利用方法
- 03. Photoshop 用テンプレートのご利用方法
- 04. 共通の注意事項
- 05. デザインのコツ

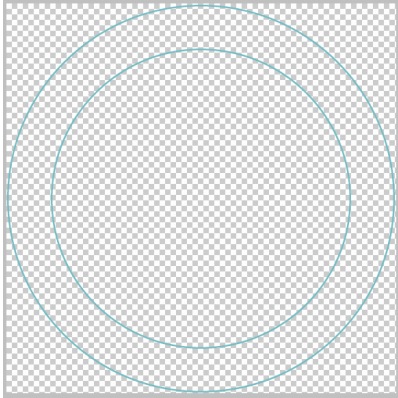
# Photoshop 用テンプレートパックのフォルダ構造



# Illustrator 用テンプレートパックのフォルダ構造



# Photoshop 用テンプレートのご利用方法

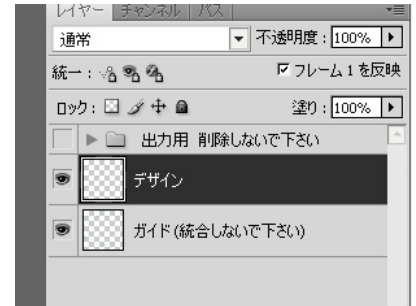


まず希望のサイズのテンプレートを開き、ガイド線の中にデザインを配置します。

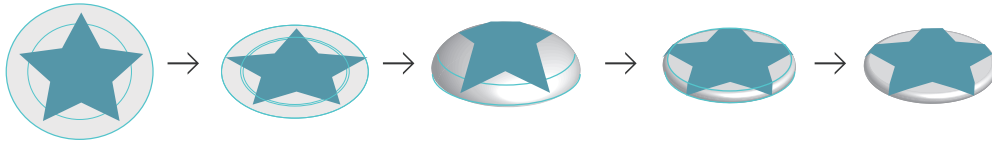
※ガイド線は印刷されませんので削除頂かなくて結構です。

※デザインは「デザインレイヤー」に配置して下さい。

※ガイドレイヤーは他のレイヤーと統合しないで下さい。



内側の円が缶バッジの直径サイズで 外側の円が巻きしろサイズです。



つまり内側から外側の部分は缶バッジの側面の部分に印刷されます。

## データ作成上の注意点一覧

ファイルが開けられない・テキストがラスタライズされていないなど重要なエラー以外は弊社では確認致しておりませんのでご注意ください。



デザインにはロックをかけないで下さい。  
※印刷されない場合が御座います。



巻きしろ部分は背景色を塗り足してデザインを行ってください。



文字は必ず「ラスタライズ」して下さい。



塗りのCMYKの合計値は300以下を推奨致します。



ファイル形式は.psdまたは.epsをお願い致します。



解像度350pixel以上を推奨致します。

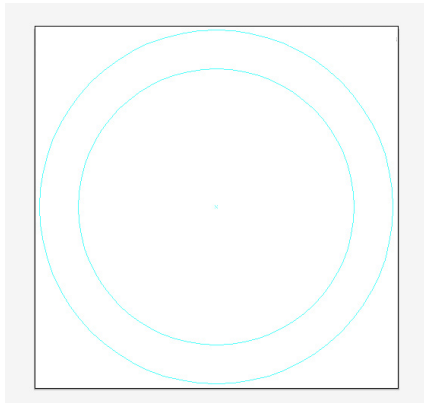


カラーモードはCMYK規格サイズ通りにてご入稿下さい。  
※RGBの場合、印刷時に弊社にて変換致しますが若干暗くなりますのでご注意下さい。



出力用と書かれたレイヤーを削除したり実寸ガイドは統合しないで下さい。  
※統合されますとガイドも印刷されます。実寸ガイドは入稿時非表示をお願い致します。

# Illustrator 用テンプレートのご利用方法



まず希望のサイズのテンプレートを開き、  
青いガイド線の中にデザインを配置します。

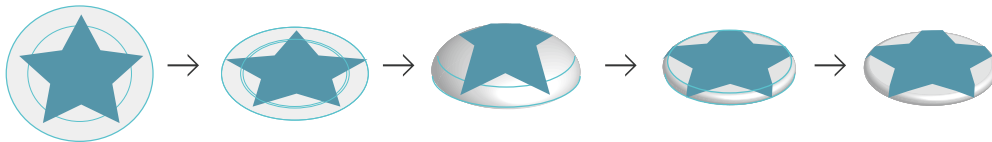
※青いガイド線は印刷されません。削除しないようお願い致します。

デザインは「デザインレイヤー」に配置して下さい。

※「削除禁止レイヤー」は弊社が印刷時に使用します。  
削除しないようお願い致します。



内側の円が缶バッジの直径サイズで 外側の円が巻きしろサイズです。



つまり内側から外側の部分は缶バッジの側面の部分に印刷されます。

## データ作成上の注意点一覧

データが開けない・テキストがアウトライン化されていない・リンク画像が存在しないなどの  
重要なエラー以外は弊社では確認致しておりませんのでご注意ください。



デザインにはロックをかけないで下さい。  
※印刷されない場合が御座います。



巻きしろ部分は背景色を塗り足して  
デザインを行ってください。



文字は必ず「アウトライン化」して下さい。



塗りのCMYKの合計値は300以下を推奨致します。



ファイル形式は.ai (8.0~CS4) をお願い致します。



ラスタ画像は解像度350pixel以上を推奨致します。



カラーモードはCMYK  
規格サイズ通りにてご入稿下さい。  
※RGBの場合、印刷時に弊社にて変換致しますが  
やや暗くなりますのでご注意ください。



スウォッチをご使用の場合は  
[オブジェクト]より「分割・拡張」して固定して下さい。  
※パターンがずれる可能性が御座います。

**Tips** 塗りの部分しか設定されていない線 “ヘアライン” は印字されません。  
また、極端に細い線や濃いベタ背景に白抜きも正しく印字されなかったり  
かすれが生じたりする可能性が御座いますのでご注意ください。

# その他の注意事項

## ファイル名は半角英数のみでお願い致します。

固有のファイル名にして下さい。  
日本語など使用されるとファイルが破損する可能性が御座います。

例: design1.ai design2.ai など。

## ベタ塗りや白抜きはなるべく避けましょう。

どんなに高性能な印刷機を使っても広範囲に及ぶベタ塗りの場合には多少の色ムラやスジが生じる事があります。  
特に缶バッジのように小さい印刷物はムラが目立ちやすいので、広範囲のベタ塗りは避けることをお勧めします。

また、小さい(細い)抜き文字などは下の図のように外側の色に押され不鮮明になることがありますのでなるべく使用しない方がよいでしょう。



## 細すぎる・小さすぎる文字は避けましょう。

およその目安として3ptに満たない文字は読みにくなる恐れがございます。  
白抜きの場合は5pt未満程度と和您下さい。  
文字を大きくしたり イラストレータの場合、輪郭線を太くすると改善されます。

## デザイン作成のコツ

初めて作る缶バッジ、不安が沢山あると思います。

そこでDTP・印刷の簡単な基礎からバッジに適したtipsや弊社DTPオペレータが気付いたtipsをお教えます。

## CMYKで濃黒を出す。

黒色にはスミとリッチブラックという2種類の黒色があり

後者はスミ1色で表現した黒ではなく他の色を混ぜた、より深みのある濃い黒です。

ただしCMYK全て100%のカラー（総ベタ）はインクの乾きに時間が掛かり、インクが滲んでしまう問題を発生させる場合があります。

この結果、印刷結果が不安定になり、印刷のムラができてしまいますのでCMYKのインキの総量が300%以下になるようにすることをお勧めします。

弊社ではC30%M25%Y25%K100%のリッチブラックをお勧めしております。



スミー色

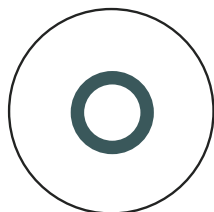


リッチブラック



## 裁断時のズレが目立たないデザイン。

通常印刷業界ではレイアウトの外側4辺に3mmの塗り足しをし、裁断位置周囲には文字を置かないなど工夫してズレを許容しています。しかし非常に小さい印刷物である缶バッジでは3mmのズレは致命的な為セカンドプレスでは1.0mm以上のズレを検品時に廃棄しておりますが縁の近くに円があるデザインは少し目立ちますのでなるべく避け、少し大きめに余白を取ると良いでしょう。



同じズレでも外周に円があるほうが目立つ

## コピーライトなどの文字を缶バッジの側面に入れる。

缶バッジの側面の厚みの部分に文字を入れるテクニックです。

テンプレートの内側の円のすぐ外側に3pt～5pt程度のテキストを円形に配置することで可能です。

ただしズレによる影響がもっとも出る部分ですので諸刃とも言えます。

有料で大変恐縮ですがご希望のお客様には1.0mmではなく0.5mm許容の検品を致します。

詳しくはお気軽にお問い合わせ下さい。

